

# トイ ライブラリー プロジェクト視察報告書

## 訪問日程

| 日時       | 訪問先                                             |
|----------|-------------------------------------------------|
| 5月26日(月) | HOUSE OF LOVE, アーサーパッターナードック財団「ドロップインセンター」      |
| 5月27日(火) | ミャンマー人の子どもたちのための小学校、アーサーパッターナードック財団「子どもの家」、希望の家 |
| 5月28日(水) | バン メーランカム スクール                                  |
| 5月29日(木) | ラオスへの移動日                                        |
| 5月30日(金) | ラオス ルアンプラバンの小学校                                 |

## HOUSE OF LOVE (AIDS孤児院とスラム貧困者の子どものためのデイケアセンター)

バプテスト教会の牧師を中心に、HIV/AIDSに感染し、帰る家のない人を保護する目的で作られた施設。

訪問時には、AIDS孤児院の子どもは学校に行っており留守であったが、デイケアセンターで子ども達の歌と踊りを見学した。  
このセンターでは、車で市内のスラム地域を回り、昼間両親が働きに出ているため、面倒をみる人がいない就学前の子どもたちを集め、集団生活の準備や、手洗い・うがいなどの習慣を身につけさせるなどの支援を行っている。

チェンマイ市内のスラムには山岳民族やミャンマーなどから国境を越えて移動してきた人々が多く暮らしている。国籍を持っていない人々も多く、職業の選択の幅が狭められるため貧困状態から抜け出すことが困難な状況である。

毎日ここに通う子ども達のために、ボランティア活動をしている日本人のロングステイヤーが教えた童謡「かたつむり」を歌って、私たちが歓待してくれた。

おもちゃらしいものはほとんどなく、寄付は大歓迎とのことである。



日本語で自己紹介し、歌ってくれた子どもたち



センターの片隅にあったおもちゃ箱

## アーサーパッターナードック財団 ドロップインセンター



スタッフに見てもらいながら宿題をする子どもたち

チェンマイ市内のスラムに住む子ども達とストリートチルドレンのための施設。子どもたちがストリートでの犯罪に巻き込まれることがないようにワークショップなどを定期的開催している。

訪問時、下校後の子どもたちが立ち寄り宿題をしていた。保護者に教育に関しての自覚がなく、帰宅後は宿題をしっかりとすることができない環境にあるため、スタッフがその宿題の手伝いをしていた。

子どもたちが帰る時には栄養補給のための牛乳を手渡し、子ども達の心身の発達にも気を配っている。

親たちの中にはタイ語ができない人もいるので、学校からの呼び出しなどがあれば、それもこのスタッフが対応しているとのことである。

## アーサーパッターナードック財団 子どもの家

ストリートチルドレンのための保護施設。ストリートで暮らしながら花売り、物売りなどをして暮らす子ども達は、麻薬、人身売買、HIVなどに巻き込まれるリスクが高くなる。子どもたちを保護し、教育を受けさせ、自分達の将来を自分達で作ることができるように支援している。

訪問時、子ども達は学校に行っており不在だったため、事務局長のアヌチョンさんから話を伺った。

現在ここで暮らす子どもは**10人**。最年少は**7歳**である。ゲームセンターなどに寝泊まりして、学校にも行かない子どもたちを、自然豊かな環境の中で育て、様々なプログラムの中で子ども達の心身の改善などに努めているという。

子どもたちの中には国籍を持たない子どももあり、国籍取得がかなり大変であるとの話を聞いた。国籍を持てないと職業の選択の幅が狭くなる等の弊害が多い。

「アジアの女性と子どもネットワーク」は**2012年**からこの施設で、子ども達の自立のための養蚕事業を支援している。



子どもたちによる養蚕の様子  
(AWC提供写真)

## ミャンマー人の子どもたちのための学校

チェンマイ市内にある、ミャンマーから移住してきた少数民族、シャン族の子どもたちを受け入れている学校。

シャン族の住むコミュニティのすぐ近くに位置している。

タイ語ができない子どもが多いので、この子ども達がタイ国内で生きていけるように、教育を行っている。

学校に入る年齢が異なる様々な年齢の小学**1年生**があり、学年の割に大きな子どもが多数学んでいる。



併設の幼稚園の子どもたち

## 希望の家 (AIDSで親を失った子どものための施設)

少数民族の**AIDS**孤児たちのための施設として**1996年**設立。現在は麻薬中毒などで子どもを養育できない親たちの子どもを預かっている。今年ここで生活している子どもは**20人**で、そのうち**90%**は両親がいない。ここにも他の施設と同じように国籍のない子どももいる。

子どもたちは食事当番、畑当番や養鶏・養豚当番など、小さな子どもも年齢に合わせて仕事を分担しており、学校から帰るとそれぞれの当番にあたる。何年もここで暮らした子どもたちの中には、奨学金を受けて大学まで進んでいる子どももあり、ここで生活する子どもたちにとっては、彼らは希望の星となっている。大学生たちは休みのときには小さな子どもたちの勉強を見るなど、後輩のためにリーダーとして力を発揮している。

この施設にいる子どもたちは、年齢の小さな子どもでも、ほとんどおもちやを持っていない。



学校から帰ってきた希望の家の子どもたちと

### AIDS孤児とは

片親ないしは両親を**AIDS**で失った**18歳**未満の子どもをさし、**2012年**時点で全世界で**1780万人**いると言われている。





教室の様子



併設の保育園での歯磨き時間



昼食の時間

おみやげのドーナツをプレゼント

## バン・メーランカム スクール

「アジアの女性と子どもネットワーク」が**1998**年に校舎建設に協力した学校。チェンマイ市郊外のサモーン郡に位置している。

現在、全校生徒は小学生、中学生を合わせて**177**人。さらに数キロ離れた分校に低学年の子ども**24**人が学んでいる。全員がカレン族で、子どもたちは家庭ではカレン語を話し、入学してからタイ語を学んでいる。

学校から**6**キロ以上離れた村の子どもたちは月曜日から金曜日まで学校の寮に寝泊まりしている。寮の子どもたちは自分たちの身の回りの掃除、洗濯、ごはんの支度などを自分で行っている。

村人は農業に従事しているが、耕作地が狭隘なため自給自足できる家は少なく、出稼ぎなどに頼らざるを得ない状況にある。カレン族の伝統的な暮らしを続けている人が多く、手織りの技術などは子どもたちにも伝承されている。

「アジアの女性と子どもネットワーク」が校舎建設を実施した**1998**年当時、村には電気がなかった。村民の多くは文字を読むことができなかったが、校舎建設から**16**年を経た現在は、この学校を卒業した子どもたちが保護者となっているため、子どもたちの教育にも熱心で、保護者会への出席率も良く、宿題の面倒なども見られるようになってきている。

学校に併設されている保育園や村の中の家も見せていただいたが、ほとんどおもちゃなどは持っていなかった。

## 山岳民族

タイ国内には、約**100**万人の山岳民族の人びとが暮らしている。カレン族が最も多く、アカ族・ラフ族・モン族・リス族・ミエン族・シャン族など様々な民族がいる。それぞれに異なった背景の人びとで、言葉の違いはもちろんのこと文化や風習も異なる。素晴らしい手工芸の技術を持ち、自然を愛する人びとであることが共通している。

## 山岳民族が抱える問題

山岳民族の人々は貨幣経済の拡大や国の定住政策、気候変動によりこれまでの伝統的な暮らしを維持することが難しくなっている。耕作できる土地が狭く、土地がやせているために生産できる作物が限られており、自給自足できる人は少数で、出稼ぎや日雇労働などで暮らしているが貧困から脱出することは困難で、中には生活のために麻薬の売買や、売買春に関わる人もいる。



学校近隣の村の様子



カレン族の民族衣装を着た女性

## ラオス ルアンプラバンの小学校

ラオスでは、ルアンプラバン県のシェングエン地区の以下の表の6校を訪問した。訪問した日は各学校とも終業式が行われていた。どの学校にも保護者が多数出席しており、全校生の前で表彰を受けている子どももいた。翌日から雨季の長い休みに入るとのことだった。

各学校の校長先生の話では、学校にはおもちゃはなく、また、子どもたちも家にもおもちゃはないだろうとのことだった。教科書やノート、鉛筆を買うことも難しい子どももあり、おもちゃまでは手が届かない様子である。

もしも、学校におもちゃがあり、子どもたちがそれで遊べるようになると、就学率や出席率も向上する可能性があるのと、どの学校の校長先生も同じ意見であった。以前、ライオンズクラブから寄付を受けたブランコや滑り台が壊れているので新しくして欲しいとの要請もあった。

| 学校名                         | 生徒数         | 幼稚園生徒数     |
|-----------------------------|-------------|------------|
| Sounluang primary school    | 132人(女子68人) | 69人(女子34人) |
| Pak Moud primary school     | 46人(女子24人)  | 21人(女子10人) |
| Pak Vet primary school      | 42人(女子19人)  | 15人(女子9人)  |
| Pak Kan primary school      | 53人(女子26人)  | 44人(女子22人) |
| Xieng Ngueng primary school | 42人(女子17人)  | 32人(女子15人) |
| Houay Khod primary school   | 33人(女子18人)  | 12人(女子6人)  |



Sounluang primary school



Pak Moud primary school



Pak Vet primary school



Pak Kan primary school



Xieng Ngueng primary school



壊れたブランコ